（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所ソレイユ

公表日　2026年　6月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		活動内容に応じたスペースを確保するよう工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	必要に応じて職員配置を調整している。	支援内容に応じて適切な人員配置になるよう調整します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	絵カードを活用し情報伝達している。	必要に応じて生活空間の整備を進めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日の掃除を徹底している。	衛生管理を徹底し心地よく過ごせる空間づくりをしていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6	2	必要に応じて確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	3	職員会議で話し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	定期的に会議を開催し情報交換をしている。	保護者の評価内容に基づいて業務改善につなげてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2		職員の意見を広く受付ける体制を整備します。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	定期的に研修会を実施している。	専門性の高い外部研修を積極的に取り入れて職員の資質向上につなげていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6	2	HPで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	支援計画については職員間での共有を徹底している。	職員間の情報共有を徹底し、計画に沿った支援を行います。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4		チームでのプログラム立案に取り組んでいきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	3		プログラムが固定化しないよう季節ごとの活動や行事参加などを積極的に取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	1	子供の発達状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	3	支援開始前に打ち合わせを行い内容や役割分担を確認している。	支援開始前の打ち合わせを徹底します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4	支援終了後に支援の振り返りを行い、職員間で情報共有している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的にモニタリングを実施している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		関係機関との連携を強化していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2	必要に応じて情報共有を行っている。	情報共有に務めます。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	6	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		保護者の要望を確認し検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時にその日の活動の様子をお伝えし情報共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		研修会の実施を検討していきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2		契約時の説明を徹底します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	8		本人や保護者の意向を確認し支援計画を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援内容を示しながら説明し同意を頂いている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		定期的に面談を実施している。必要に応じて相談を受け付けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	4		保護者の要望を確認し検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			保護者の要望に応じて迅速に対応します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		HPやSNS等により情報発信をしている。	HPやSNS等を活用し情報発信を積極的に行います。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	1	個人情報は鍵付き書庫に保管し、シュレッダーによる廃棄を徹底している。	個人情報の取り扱いついては厳重な管理を徹底します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	1		

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		保護者の要望を確認し検討します。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		定期的に研修や訓練を行っている。	マニュアルの整備状況を確認し訓練の実施を徹底します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	2	保護者への確認を徹底している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	保護者への確認を徹底している。	医師の指示書に基づいて対応します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		安全計画に基づいて研修や訓練を実施します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	8			保護者への周知を徹底します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		報告書に記載し情報共有している。	職員間の情報共有を徹底し再発防止に努めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	2	研修会を開催している。	今後も定期的な研修を実施してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		契約時に必ず説明している。	重要事項説明書による契約時の説明を徹底しています。